

こころとからだに、  
おいしいものを。



2020年8月27日

各位

会社名 ダイドグループホールディングス株式会社  
代表者の役職氏名 代表取締役社長 高松 富也  
(コード番号：2590 東証第1部)  
問い合わせ先 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長  
長谷川 直和  
電話番号 06-7166-0077

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2020年5月26日の2021年1月期第1四半期決算発表時に一旦未定としておりました2021年1月期(2020年1月21日～2021年1月20日)の通期業績予想について、最近の業績動向を踏まえて、下記のとおり決定しましたので、お知らせいたします。

記

#### 1. 2021年1月期 通期連結業績予想数値の修正 (2020年1月21日～2021年1月20日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 -	百万円 -	百万円 -	百万円 -	円 銭 -
今回修正予想(B)	158,000	1,800	1,700	500	30.91
増減額(B-A)	-	-	-	-	
増減率(%)	-	-	-	-	
(参考)前期連結実績 (2020年1月期)	168,256	2,893	2,857	1,778	108.00

#### 2. 修正の理由

2021年1月期通期業績予想につきましては、一旦未定としておりましたが、新型コロナウイルス感染症は、当面は一時的な感染拡大と収束を繰り返すことが想定されるものの、内外経済は緩やかに回復に向かうことを前提とした上で、業績予想を公表することといたしました。

今後、感染拡大による社会・経済への影響が深刻化するなど、通期業績予想の修正が必要となった場合には、すみやかにお知らせいたします。

なお、安定配当維持継続の方針により、2020年3月4日に公表した配当予想については、変更はありません。

2021年1月期の通期業績予想といたしましては、売上高は1,580億円（前連結会計年度比6.1%減）を見込んでおります。社会経済活動の持ち直しの動きの中で、消費者の需要動向は回復に向かうものの、新型コロナウイルス感染拡大による売上面への影響は、一定程度続くことを見込んでおります。

利益面につきましては、国内飲料事業及び食品事業においてセグメント利益の増加を見込むものの、海外飲料事業及び医薬品関連事業においてセグメント損失を計上する見通しであることや、ヘルスケア領域における成長戦略の実行にかかる費用の増加等により、営業利益18億円（前連結会計年度比37.8%減）、経常利益17億円（前連結会計年度比40.5%減）を見込んでおります。親会社株主に帰属する当期純利益については、第2四半期連結累計期間と同等額の特別損益の発生を織り込んで算出し、5億円（前連結会計年度比71.9%減）を見込んでおります。

（注）業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報および合理的と判断する前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上